

## 資料目次

1	日本の将来推計人口・高齢世帯の推計(愛媛県)
2	要介護(支援)認定者数・認知症高齢者数の将来推計(愛媛県)
3	平成27年度愛媛県国勢調査の結果
4	愛媛県医療圏域ごとの人口千人当たり看護師数
	就職先別看護職員数年次推移
5	愛媛大学医学部附属看護実践教育研究サポートセンターの役割と実績
6	要望書(愛媛県)
	要望書(愛媛県看護協会)
7	本学修士課程修了者の博士課程進学状況
8	四国地方の看護系大学及び大学院設置状況と入学定員
9	四国地方の看護系大学院設置状況
10	博士後期課程の3つのポリシー
11	愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻在学生・修了者に対する博士後期課程の設置に関する意向調査
	愛媛大学大学院医学系研究科修士課程在籍者24人のうち、平成31年度3月修了者8名に対する調査
12	看護学専攻博士後期課程カリキュラム
13	授業科目の概要
14	寄附講座の設置状況
15	授業別担当教員一覧
16	特別研究の概要
17	入学から修了までの学修プロセスの概要
18	履修モデル
19	研究指導の標準的なスケジュール
20	愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻研究倫理審査委員会規程
21	大学院生室の見取り図
22	一貫した教育方針
23	博士前期課程と後期課程の時間割(前期)
	博士前期課程と後期課程の時間割(後期)

## 平成27年度愛媛県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画より抜粋

表3-1 日本の将来推計人口

(単位：千人)

	全国						
	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
総人口	128,057	126,597	124,100	120,659	116,618	112,124	107,276
年少人口①	16,803	15,827	14,568	13,240	12,039	11,287	10,732
生産年齢人口②	81,032	76,818	73,408	70,845	67,730	63,430	57,866
老年人口③	29,246	33,952	36,124	36,573	36,849	37,407	38,678
後期高齢者人口	14,072	16,458	18,790	21,786	22,784	22,454	22,230
高齢化率 ③/(①~③計)	23.0%	26.8%	29.1%	30.3%	31.6%	33.4%	36.1%

	愛媛県						
	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
総人口	1,437	1,383	1,329	1,269	1,206	1,141	1,075
年少人口①	185	170	158	137	123	114	107
生産年齢人口②	859	790	738	693	653	609	551
老年人口③	370	424	442	440	430	418	416
後期高齢者人口	201	218	233	264	273	267	255
高齢化率 ③/(①~③計)	26.6%	30.7%	33.2%	34.6%	35.6%	36.6%	38.7%
全国の率との差	3.6ポイント	3.9ポイント	4.1ポイント	4.3ポイント	4.0ポイント	3.2ポイント	2.6ポイント

資料：平成22年 ☞ 国勢調査

平成27年以降 ☞ 国立社会保障・人口問題研究所（日本の地域別将来推計人口：平成25年3月推計）

※年少人口：0～14歳 生産年齢人口：15～64歳

老年人口：65歳以上 後期高齢者人口：75歳以上

表3-2 高齢世帯の推移（全国）

(単位：千世帯)

	平成22年		平成27年		平成32年		平成37年		平成42年		平成47年	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
一般世帯	51,842	100%	52,904	100%	53,053	100%	52,439	100%	51,231	100%	49,555	100%
高齢世帯	15,986	30.8%	18,887	35.7%	20,060	37.8%	20,154	38.4%	20,111	39.3%	20,215	40.8%
高齢単身世帯	4,791	9.2%	6,008	11.4%	6,679	12.6%	7,007	13.4%	7,298	14.2%	7,622	15.4%
高齢夫婦のみ世帯	5,390	10.4%	6,209	11.7%	6,512	12.3%	6,453	12.3%	6,328	12.4%	6,254	12.6%

資料：平成22年 ☞ 国勢調査

平成27年以降 ☞ 国立社会保障・人口問題研究所（平成25年1月推計）

表3-3 高齢世帯の推移（愛媛県）

(単位：千世帯)

	平成22年		平成27年		平成32年		平成37年		平成42年		平成47年	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
一般世帯	590	100%	586	100%	574	100%	555	100%	532	100%	505	100%
高齢世帯	208	35.3%	237	40.4%	246	42.9%	242	43.6%	234	44.0%	223	44.2%
高齢単身世帯	69	11.7%	83	14.2%	89	15.5%	90	16.2%	91	17.1%	90	17.8%
高齢夫婦のみ世帯	76	12.9%	84	14.3%	85	14.8%	82	14.8%	77	14.5%	72	14.3%

資料：平成22年 ☞ 国勢調査

平成27年以降 ☞ 国立社会保障・人口問題研究所（平成26年4月推計）

平成27年度愛媛県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画より抜粋

表5-2 要介護（支援）認定者数（第2号を含む）

（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度	平成37年度
要支援1	15,015	15,732	16,538	17,834	18,766
要支援2	12,181	12,444	12,778	13,570	14,384
要介護1	17,765	18,417	19,168	20,644	21,676
要介護2	14,068	14,591	15,163	16,367	17,266
要介護3	11,080	11,631	12,223	13,446	14,369
要介護4	11,391	11,803	12,282	13,458	14,385
要介護5	10,730	10,750	10,843	11,406	12,023
計	92,230	95,368	98,995	106,725	112,869

資料：各市町が介護保険事業計画で推計した数値の積上げ

表3-4 認知症高齢者数の将来推計（愛媛県）

認知症高齢者数（65歳以上）			
平成26年	平成27年	平成32年	平成37年
50,470 (12.3%)	52,600 (12.4%)	61,200 (13.9%)	64,800 (14.7%)

※（ ）内は65歳以上高齢者人口に占める認知症高齢者の割合

資料：平成26年 ⇨ 長寿介護課調査

平成27年以降 ⇨ 平成26年の要介護認定データに基づき、要介護認定者数に占める「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ」以上の割合（認知症患者率）を算出し、市町の要介護認定者数の将来推計に認知症患者率を乗じて推計

なお、「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ」とは、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られても誰かが注意すれば自立できる状態

## 平成27年愛媛県国勢調査の結果

第Ⅲ表 市町別年齢(3区分)別人口、年齢別割合、平均年齢、年齢中位数及び年齢構成指数

市町名	年齢別(3区分)人口 (人)				年齢別(3区分)割合 (%)			平均年齢	年齢中位数	年齢構成指数			
	総数 1)	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満 2)	15～64歳 2)	65歳以上 2)			年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化 指数
愛媛県	1,385,262	169,110	776,111	417,186	12.4	57.0	30.6	48.6	50.5	21.8	53.8	75.5	246.7
愛媛県 市部	1,255,330	154,763	708,305	369,719	12.6	57.4	30.0	48.2	49.9	21.8	52.2	74.0	238.9
愛媛県 郡部	129,932	14,347	67,806	47,467	11.1	52.3	36.6	52.2	56.7	21.2	70.0	91.2	330.8
松山市	514,865	64,925	303,024	128,658	13.1	61.0	25.9	46.0	46.3	21.4	42.5	63.9	198.2
今治市	158,114	18,816	86,057	52,636	11.9	54.6	33.4	49.9	52.4	21.9	61.2	83.0	279.7
宇和島市	77,465	8,483	40,680	28,072	11.0	52.7	36.3	52.2	56.4	20.9	69.0	89.9	330.9
八幡浜市	34,951	3,558	18,209	13,058	10.2	52.3	37.5	53.1	57.2	19.5	71.7	91.3	367.0
新居浜市	119,903	15,812	66,679	36,715	13.3	55.9	30.8	48.1	49.4	23.7	55.1	78.8	232.2
西条市	108,174	13,857	60,473	32,793	12.9	56.5	30.6	48.7	50.7	22.9	54.2	77.1	236.7
大洲市	44,086	5,370	23,586	14,715	12.3	54.0	33.7	50.6	54.3	22.8	62.4	85.2	274.0
伊予市	36,827	4,609	20,602	11,556	12.5	56.0	31.4	49.0	51.5	22.4	56.1	78.5	250.7
四国中央市	87,413	10,741	49,719	26,123	12.4	57.4	30.2	48.6	50.4	21.6	52.5	74.1	243.2
西予市	38,919	4,199	18,830	15,867	10.8	48.4	40.8	54.2	59.4	22.3	84.3	106.6	377.9
東温市	34,613	4,393	20,446	9,526	12.8	59.5	27.7	47.1	48.0	21.5	46.6	68.1	216.8
越智郡	7,135	548	3,554	3,026	7.7	49.9	42.5	53.9	60.7	15.4	85.1	100.6	552.2
上島町	7,135	548	3,554	3,026	7.7	49.9	42.5	53.9	60.7	15.4	85.1	100.6	552.2
上浮穴郡	8,447	728	3,712	3,984	8.6	44.1	47.3	58.5	63.5	19.6	107.3	126.9	547.3
久万高原町	8,447	728	3,712	3,984	8.6	44.1	47.3	58.5	63.5	19.6	107.3	126.9	547.3
伊予郡	51,303	6,678	29,462	15,026	13.1	57.6	29.4	48.0	49.9	22.7	51.0	73.7	225.0
松前町	30,064	4,007	17,301	8,703	13.4	57.6	29.0	47.7	49.2	23.2	50.3	73.5	217.2
砥部町	21,239	2,671	12,161	6,323	12.6	57.5	29.9	48.3	50.7	22.0	52.0	74.0	236.7
喜多郡	16,742	1,904	8,422	6,352	11.4	50.5	38.1	53.0	57.6	22.6	75.4	98.0	333.6
内子町	16,742	1,904	8,422	6,352	11.4	50.5	38.1	53.0	57.6	22.6	75.4	98.0	333.6
西宇和郡	9,626	839	4,637	4,150	8.7	48.2	43.1	56.5	61.3	18.1	89.5	107.6	494.6
伊方町	9,626	839	4,637	4,150	8.7	48.2	43.1	56.5	61.3	18.1	89.5	107.6	494.6
北宇和郡	14,777	1,513	7,011	6,242	10.2	47.5	42.3	55.4	60.9	21.6	89.0	110.6	412.6
松野町	4,072	354	1,984	1,726	8.7	48.8	42.5	56.0	61.3	17.8	87.0	104.8	487.6
鬼北町	10,705	1,159	5,027	4,516	10.8	47.0	42.2	55.2	60.8	23.1	89.8	112.9	389.6
南宇和郡	21,902	2,137	11,008	8,687	9.8	50.4	39.8	54.6	59.7	19.4	78.9	98.3	406.5
愛南町	21,902	2,137	11,008	8,687	9.8	50.4	39.8	54.6	59.7	19.4	78.9	98.3	406.5

1) 年齢不詳を含む。  
2) 不詳を除いて算出。

平成27年10月1日現在

## 愛媛県医療圏域ごとの人口千人当たり看護師数

医療圏域	人口千人当たり 看護師数	65歳以上人口千人当 たり看護師数
宇摩	8.5	32.4
新居浜・西条	10.9	40.5
今治	9.5	32.7
松山	13.0	56.1
八幡浜・大洲	9.1	<b>26.8</b>
宇和島	10.4	<b>31.9</b>

出典：看護師数（2016年）は愛媛県看護協会調べ、人口は2017年国勢調査を用いて算出

## 就業先別看護職員数年次推移

	2006年	2014年	増加率
病院	12,117	13,303	9.8%
診療所	4,359	4,557	4.5%
訪問看護ステーション	312	554	<b>77.6%</b>
介護保険関係施設	1,442	2,378	<b>64.9%</b>
社会福祉施設	198	284	43.4%

出典：愛媛県看護協会調べ

愛媛大学医学部附属看護実践教育研究サポートセンターの役割と実績



キックオフ講演会の開催(平成27年度)

- ・タイトル: 経験型実習指導についてー理論と実践及び評価ー
- ・講師: 安酸 史子(防衛医科大学 医学教育学部看護学科)

看護研究サポートセミナーの開催(平成28年度～)

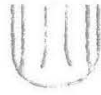
- ・平成28年度(4回シリーズ、各定員30名)  
① 研究テーマの精練と方法の選択 ② 研究計画書の書き方  
③ 量的なデータ分析の方法 ④ 魅力あるプレゼンテーションの秘訣  
総参加者: 172名
- ・平成29年度(3回シリーズ、各定員30名)  
① 文献検索の方法 ② 量的な看護研究 ③ 質的な看護研究  
総参加者: 107名

看護教育セミナーの開催(平成28年度～)

- ・平成28年度「看護学実習指導場面における看護師の省察」  
講師: 前川 幸子(甲南女子大学 看護リハビリテーション学部)  
参加者: 130名
- ・平成29年度「看護実践を学ぶためのシミュレーション教育の活用」  
講師: 大川 宣容(高知県立大学 看護学部)  
参加者: 132名

研究指導の調整(平成27年度～)

- ・データ分析の勉強会 1件
- ・研究指導 1件



## 要 望 書

本県の高齢者を取り巻く状況は、平成 29 年 4 月 1 日現在の高齢化率が 31.0%と全国に比して高く、今後も高齢化率の上昇が見込まれております。

また、高齢世帯の増加や認知症高齢者・要介護（支援）認定者等の増加の一方、支え手の減少も見込まれ、高齢者を地域で支える仕組みづくりが喫緊の課題となっております。

このような中、本県では、第 7 次愛媛県高齢者福祉計画において「高齢者が健康長寿を実感し、地域において愛顔<sup>えがお</sup>で暮らせる共生社会づくり」を政策目標に掲げ、地域の实情に応じた地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めているところです。

県内の看護職員の状況を見ますと、要介護高齢者の増加に伴い、介護福祉関連施設等で働く看護職員は増えておりますが、地域偏在が見られ、とりわけ、高齢化が進んでいる地域において看護職員の不足が大きな課題となっております。

また、保健・医療・福祉政策の大きな転換期を迎える中で、看護職員には、急性期や高度医療を担うことはもとより、これまで以上に地域包括ケアシステムを推進する役割が期待されております。

地域包括ケアシステムの推進のためには、地域住民や専門職、関係機関など多様な主体が、主体性を発揮しながら、協働して進めていく仕組みが必要であり、保健・医療・福祉・介護の各分野の要である看護職員には、質の高い看護の提供と併せて、全般を統括し、推進役を担うことが期待されております。

深い知識と技術を備え、質の高い地域包括ケアについて開発し、広めていくことのできる看護職員の養成が不可欠となっており、このような観点から、愛媛大学大学院医学系研究科に看護学専攻博士課程が設置されるならば、本県の保健・医療の一層のレベルアップに大きく貢献していただけるものと、強い期待を寄せるところであり、その早期実現を要望するものであります。

平成 30 年 4 月 25 日

愛媛県知事 中 村 時 広



愛媛大学長  
大 橋 裕 一 様

## 要 望 書

多くの中山間地や離島を抱えている愛媛県は、全国に先駆けて少子・高齢化、人口減少が進んでいます。そのため、それぞれの地域の特性を活かし、住み慣れた地域で人々ができる限り健康に暮らし続けるための地域包括ケアシステムの構築が課題となっています。

保健・医療・福祉が「病院完結型医療」から「地域完結型医療」へと転換される中、医療機関の役割分担・連携の推進、そして在宅医療の強化が進められています。こうした状況の中、高度医療から在宅・福祉の現場と幅広く活躍する看護職は、看護職種相互および多職種間の連携を推進する原動力となることが求められています。

愛媛県看護協会といたしましては、地域の人々の人権を尊重し健康な生活の実現に寄与するために、看護職の確保・定着、質の向上に努めております。

今後、看護職は急性期や高度医療を担うことはもとより、これまで以上に地域で暮らす生活者として対象となる人々を支え、地域包括ケアシステムを推進し、予防・医療・介護を俯瞰できるリーダー的な役割を担う職務が期待されています。

そのため、高度な看護実践能力をもち、保健・医療・福祉の連携を推進するマネジメント力をもつ看護専門職者、さらには、研究による新たな看護の知見を見出し現場の看護の質の向上を図り、新たな地域包括ケアのシステムを開発することのできる人材を育成することが、急務であると考えます。

愛媛大学におかれましては、愛媛大学大学院医学系研究科に看護学専攻博士後期課程設置の検討を進めておられると聞いておりますが、以上のような状況から「地域包括ケア開発学」に特化した看護学専攻博士後期課程を1日も早く設置されますよう強くお願い申し上げます。

平成 30年 2月 27日

愛媛大学学長

大 橋 裕 一 様

公益社団法人愛媛県看護協会長

大西 満美子



本学修士課程修了者の博士課程進学状況

修士課程修了  
232人



平成29年度現在

49人



# 博士課程進学

県内9人 (3.9%)

愛媛大学大学院医学系研究科医学専攻8人  
同連合農学研究科1人



県外40人  
(17.2%)



関東3人，近畿12人，中国14人  
四国3人，九州3人，不明5人

## 四国地方の看護系大学及び大学院設置状況と入学定員

県 区分			学部		修士(博士前期)		博士後期	
			学生 受入年度	入学定員	学生 受入年度	入学定員	学生 受入年度	入学定員
愛媛	国立	愛媛大学	H06	60	H10	16		
愛媛	公立	愛媛県立医療技術大学	H16	75	H26	5		
愛媛	私立	聖カタリナ大学	H29	80				
愛媛	私立	人間環境大学	H29	80				
香川	国立	香川大学	H08	60	H12	16		
香川	県立	香川県立保健医療大学	H16	70	H21	5		
徳島	国立	徳島大学	H14	70	H18	27	H20	5
徳島	私立	徳島文理大学	H20	90	H26	7	H28	3
徳島	私立	四国大学	H21	80	H25	8		
高知	国立	高知大学	H10	60	H14	12		
高知	公立	高知県立大学	S27	80	H10	15	H26	5
計11校			学部定員 総数	805	修士前期 定員総数	111	修士後期 定員総数	13

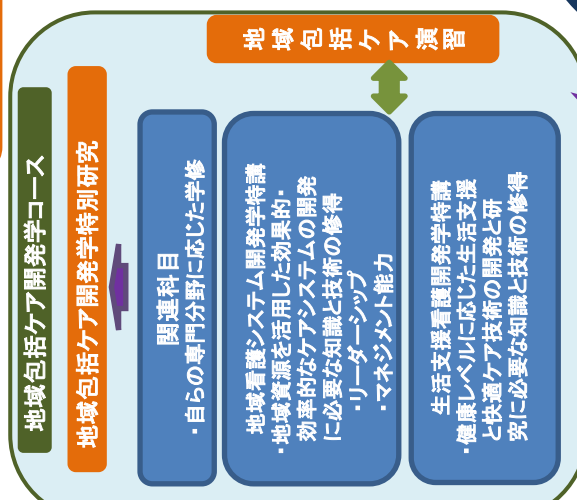
## 四国地方の看護系大学院設置状況

区分	県	大学院名	研究科名	専攻名	修士課程		博士課程	
					学生受入年度	入学定員	学生受入年度	入学定員
国立	愛媛	愛媛大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H10	16		
国立	香川	香川大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H12	16		
国立	徳島	徳島大学大学院	保健科学教育部	保健学専攻	H18	27	H20	5
国立	高知	高知大学大学院	総合人間自然科学研究科	看護学専攻	H14	12		
公立	愛媛	愛媛県立医療技術大学	保健医療学研究科	看護学専攻	H26	5		
公立	香川	香川県立保健医療大学大学院	保健医療学研究科	看護学専攻	H21	5		
公立	高知	高知県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H10	15	H26	3
				共同災害看護学専攻			H26 (一貫)	2
私立	徳島	徳島文理大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H26	7	H28	3
私立	徳島	四国大学	看護学研究科	看護学専攻	H25	8		

地域の健康課題を解決へと導き、次世代の看護職者を育成することができる地域包括ケアリーダーを養成する看護学専攻博士後期課程の設置

- ① 地域包括ケアシステム開発に必要な高度な専門知識を持ち、地域の保健・医療・福祉の全体を俯瞰し、地域や個人が抱える健康課題を科学的に分析・評価し、地域力を活かしながら解決へと導くことができる人材。
- ② 高度な専門知識を活かし、看護実践者として地域包括ケアを牽引し、実践的指導力を発揮して、次世代を担う看護職者を育成できる人材。

養成する人材



【獲得する能力】

- ・研究遂行能力
- ・看護実践力

【高度な知識の修得と技能の育成】

【求める人材】

- ・深い学識
- ・科学的かつ柔軟な思考力
- ・キーパーソンとなれる調整力
- ・地域包括ケアを担う意思

《ディプロマ・ポリシー》

- ① 国内外の文献検討やフィールドワークを通じて、地域包括ケアの開発やシステム構築における課題を見出し、課題解決に必要な研究テーマを提案することができる。
- ② 地域包括ケア開発学の理論構築に資する研究テーマに基づいて、研究計画を企画・立案し、遂行することができる。
- ③ 地域包括ケア開発学としての科学的、かつ学術的に意義のある論文を作成することができる。
- ④ 論文の研究成果を国内外の看護学会等で発表し、発信するために必要なプレゼンテーション能力が身に付いている。
- ⑤ 国内外及び自らの研究成果を活用し、看護実践者として地域包括ケアを牽引し、次世代を担う看護職者を育成し得る高度な専門知識と実践的指導力を持ち、自らの実践領域における教育・研究をリードしていくことができる能力が身に付いている。

《カリキュラム・ポリシー》

- ① 専門科目は、あらゆる発達段階・健康レベルにある人々が住み慣れた地域で暮らし続けるための個々の健康課題を的確に把握し解決のためのケアモデル・援助技術の開発やエビデンス構築について学修させるとともに、地域資源を活用し、マネジメントや人材育成によって、個人や地域の課題解決のための効果的・効果的なシステム開発を学修させる科目を配置する。
- 地域包括ケアは、胎児期から高齢期までのあらゆる発達段階・健康レベルにある人々を対象としていることから、授業はそれぞれの領域の専門の教員によるオムニバス形式で実施する。これにより、自身の専門領域を超えた広い視野と地域包括ケアに共通する本質的な考え方を養うとともに、自らの専門領域の特性についての学びを深めることを意図している。
- さらに、地域医療の現場で地域包括ケアの課題と解決策についてフィールドワークを行うことで、学生個々の専門領域における地域包括ケア開発に活用できる研究課題を提案することができるよう演習を配置する。
- ② 関連科目は学生の関心や研究課題に応じて選択できるように選択科目とする。地域包括ケアにおいて重要な役割を担う医療の多様なあり方を学修し、学際的な視点を養う科目、研究計画特に研究方法の立案に必要な知識・技術を補完するより高度な研究方法や、データ分析に関する科目を設定した。
- ③ 特別研究は、主指導教員、副指導教員2名の3名体制で、「地域包括ケア開発学」の発展に寄与できる新規性・創造性・応用価値のある博士論文作成の指導を行う。

《アドミSSION・ポリシー》

- ① 看護学領域の研究に強い関心を持ち、保健・医療・福祉の分野の専門的な知識を有する人
- ② 国内外の文献を読み解く語学力と分析力を有する人
- ③ 教育・研究者としてのコミュニケーション能力、ならびに理論的思考力を有する人
- ④ 自ら問題意識を持ち自立的に構築に取り組める人
- ⑤ 研究をとおして地域包括ケアに貢献する明確な意思を持つ人
- ⑥ 博士後期課程修了後に、地域包括ケアを牽引し、自らの実践領域における教育・研究をリードしていく明確なキャリアビジョンを持つ人

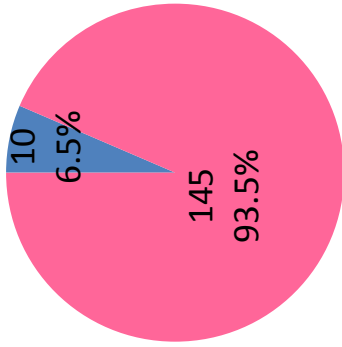
地域包括ケアシステムの構築

地域社会 地域の抱える諸問題：少子高齢化・過疎化・看護職の偏在

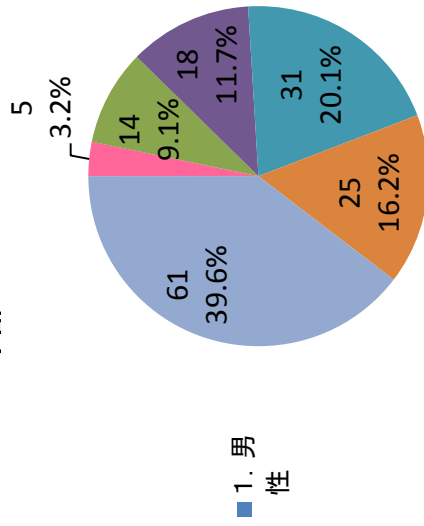
愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻在学学生・修了者に対する博士後期課程の設置に関する意向調査

対象者：愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程在籍者ならびに修了者215人（宛先不明を除く）  
 調査期間：平成30年6月11日から平成30年6月18日  
 回答があった155人（回収率72.1%）についての集計

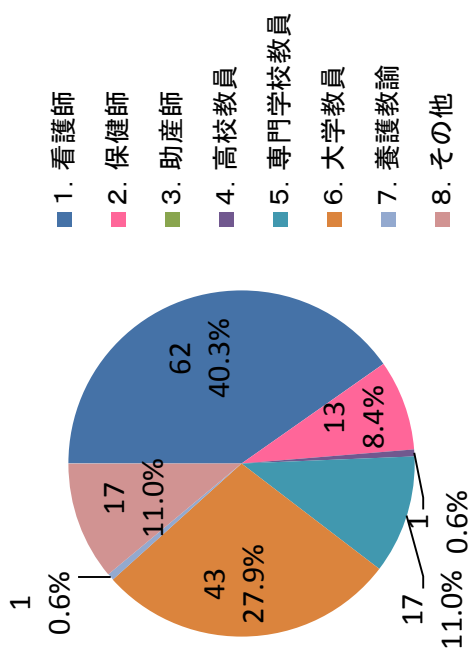
性別



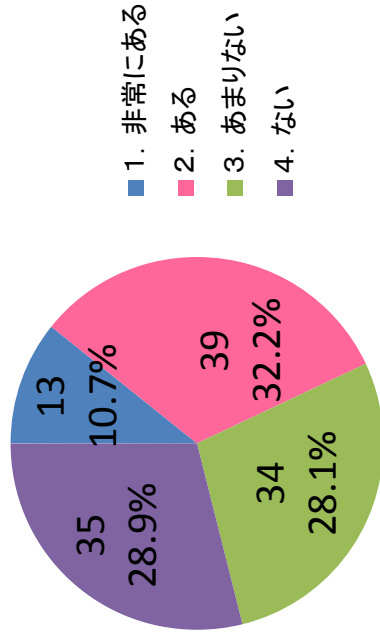
年齢



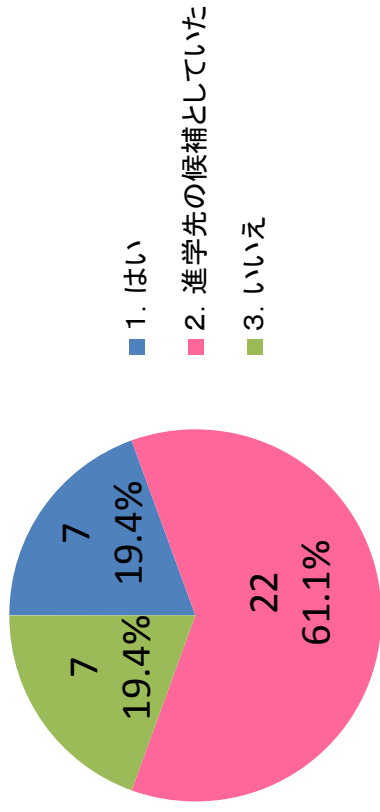
職種



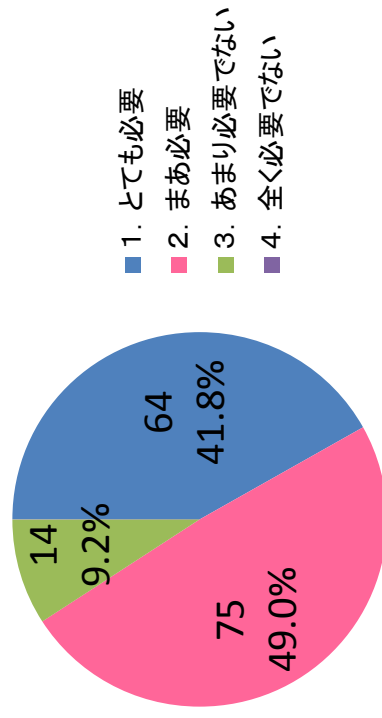
II. 看護学専攻 博士課程への進学希望  
(n=121)



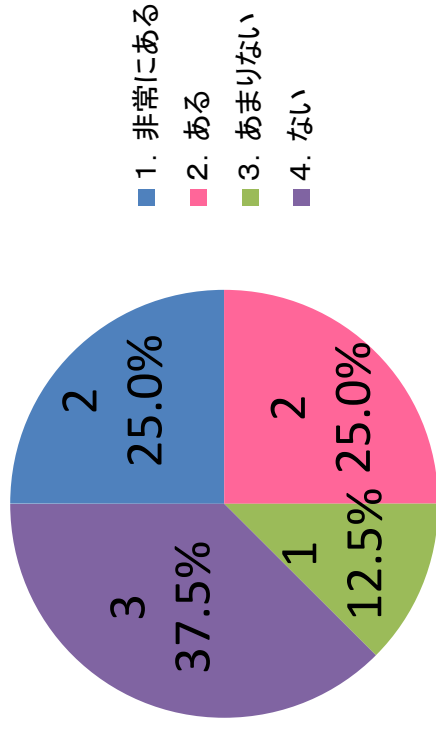
III. 博士課程在籍者、博士課程修了者、本学に博士課程があれば進学していたか (n=36)



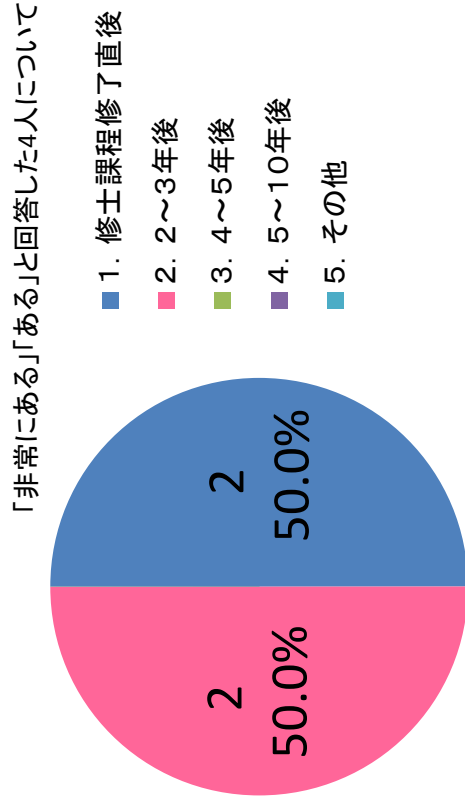
IV. 本学看護学専攻に博士課程は必要か  
(n=153)



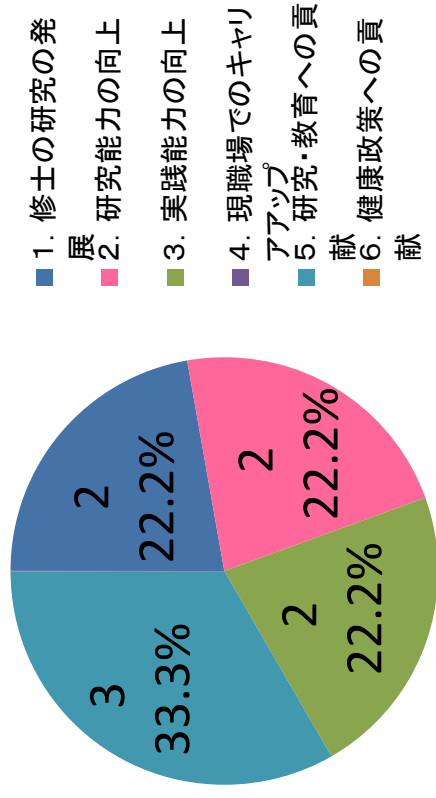
### II-1. 進学の希望



### II-2. 進学の時期



### II-3. 進学の目的



## 看護学専攻博士後期課程カリキュラム

区分	授業科目名	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
地域包括ケア開発学コース	専門科目 生活支援看護開発学特講	1(前)	2		必須科目12単位 修得すること
	地域看護システム開発学特講	1(前)	2		
	地域包括ケア演習	1(後)	2		
	特別研究 地域包括ケア開発学特別研究	1~3通	6		
	関連科目 地域医療学	1(後)		2	選択科目から2単位 以上修得すること
	応用統計学	1(後)		2	
	研究方法特講	1(後)		2	
修了に必要な単位数		14単位			